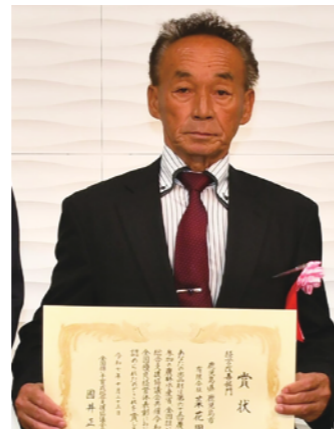


令和7年度全国優良経営体表彰で 全国担い手育成総合支援協議会会長賞を受賞

【受賞者】有限会社菜花園 代表取締役 田中 敏郎(鹿児島市小山田町)

有限会社菜花園は、軟弱野菜の団地としては西日本最大級の生産規模を誇る「アグリタウン小山田」の中心的な経営体で、都市近郊という立地を最大限に生かし、ほうれんそう等の軟弱野菜の周年栽培に取り組まれています。「安心・安全」な野菜を消費者に届けたいという思いから、当初から減化学農薬、減化学肥料による栽培の実践や土壌診断及び施肥試験に粘り強く取り組み、高品質かつ安定した農産物を長年にわたり生産されています。このような取組が高く評価され、10月23日に鹿児島市で開催された全国優良経営体表彰式で全国担い手育成総合支援協議会会長賞(経営改善部門)を受賞されました。

今後のさらなる経営発展を期待します。



令和7年度鹿児島県茶品評会で九州農政局長賞を受賞

【受賞者】有限会社中園八郎製茶 代表取締役 高橋直行
(鹿児島市直木町)

高橋さんは、鹿児島市で開催された県茶品評会において九州農政局長賞(普通煎茶の部)を受賞され、11月5日の県茶業振興大会にて表彰されました。高橋さんは、鹿児島市松元地域において、約14haの茶園を経営し、常に技術向上に取り組んでいます。また、鹿児島市茶業振興会会長として、地域の茶業振興のみならず「まつもと茶」のPRにも務めています。益々の経営発展を期待します。



高橋さんご家族(中央が直行さん)

「アグリッチかごしま」の取組

農業を営み、農家生活や農業経営管理・労働管理等に優れ、実践力や発言力のある女性農業者を「女性農業経営士」として県知事が認定しています。鹿児島市内の女性農業経営士で組織する「アグリッチかごしま」は現在18名で活動しています。

本年度の取組として、9月に資質向上研修を実施し、6次産業化としてカフェを営む「茶寮ささの」(薩摩川内市)の取組状況を学びました。また、10月には坂之上製茶SABOにおいて、消費者へ鹿児島市産の農産物をPRするイベントを開催しました。イベントでは、会員が生産した農産物を活用した試食品(茶飯、マコモダケのソテー、小松菜のおひたし、ラディッシュの甘酢漬、パプリカと青梗菜を使ったスープ、茶とレモングラスを使ったハーブティー)を提供し、来場者に直接味わっていただき、農産物をPRしました。併せて農産物をPRした「アグリッチかごしまレシピ集」を配布しました。来場者から「生産者の顔が見えるので安心です。レシピを見て作ってみます。」などの意見が寄せられました。今後も経営発展や地域農業の活性化に向けて活動を継続していきます。



鹿児島市産の農産物をPR

鹿児島地域振興局農林水産部農政普及課

鹿児島地域アグリ通信

編集発行 鹿児島地域振興局農林水産部農政普及課
〒892-8520 鹿児島市小川町3番56号
TEL 099-805-7377 FAX 099-805-7408

2025.12

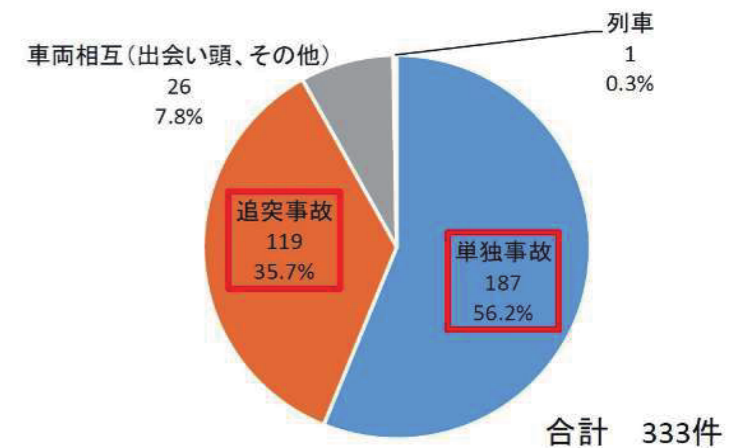
トラクタが公道走行中、後続車から追突される 事故は、夜間(16時以降)に多くなっています。 反射材を取り付けましょう!

トラクタによる事故は、転落等による単独事故のみだけでなく、公道走行中に追突されている事例もあります。警視庁が平成28年~令和2年に調査した結果では、全体の35.7%が追突事故によるものでした。

事故類型別死亡・重傷事故件数 (平成28年~令和2年合計)
【警察庁交通課交通企画課調べ】



【追突事故】



夜間は後続車から農機が発見されにくいことから、追突事故は、**16時以降**に多くなっています。

一般車両との接触や追突を防ぐためにも周囲の車両に気づいてもらうことが大切です。「**低速車マーク**」や「**反射材**」を設置しましょう。

(写真提供 農研機構)

